

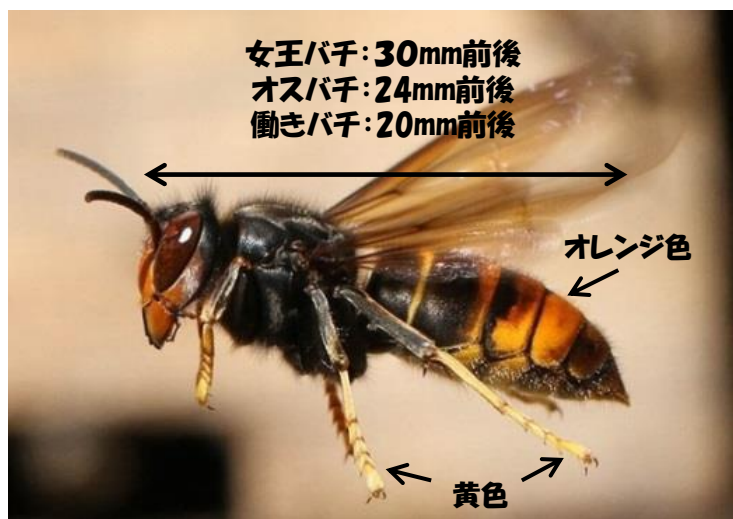
蜜蜂を飼育されてる皆様へ

長崎県壱岐市で「ツマアカスズメバチ」を再確認！

本年5月8日、長崎県壱岐市において、特定外来生物のツマアカスズメバチ1個体が捕獲されました。

ツマアカスズメバチは、主に蜜蜂などの昆虫類を補食するといわれ、養蜂業への影響が懸念されています。

ツマアカスズメバチの特徴



環境省提供写真を編集



環境省提供写真を編集

- ◆原産地：中国、台湾、東南アジア、南アジア
- ◆形態：体は**全体的に黒っぽく腹部の先端がオレンジ色**
- ◆生態：オオスズメバチのように**蜜蜂の巣は襲わないが、巣箱の前でホバリングして、帰巣してきた蜜蜂を空中で捕獲する。**
樹木の高い位置に営巣することが多い。
- ◆経過：平成24年10月 長崎県対馬市で国内初確認（→定着を確認）
平成27年 9月 福岡県北九州市で確認（巣を確認→定着なし）
平成28年 5月 宮崎県日南市で確認（女王蜂を捕獲→定着なし）
平成29年 9月 長崎県壱岐市で確認
海外では、韓国やヨーロッパで定着が確認されている。

ツマアカスズメバチの生息やそれを疑う営巣を発見した場合は、当所にご連絡下さい。